

★★★ <第26回知的財産翻訳検定試験【第14回和文英訳】> ★★★

≪ 1 級課題 -機械工学- ≫

【解答にあたっての注意】

1. 問題の指示により英訳してください。
2. 解答語数に特に制限はありません。適切な箇所で行改行してください。
3. 課題文に段落番号がある場合、これを訳文に記載してください。
4. 課題は3題あります。それぞれの課題の指示に従い、3題すべて解答してください。

問1. 次の従来技術に関する記述を英語に訳して下さい。米国出願を想定し、和文の細かい表現にとらわれずに、技術的な要点がわかりやすく読み取れる訳文を心がけてください。

【0009】

そこで、本発明者は、折り曲げ状態で張設した場合や複雑な形状に沿わせて張設した場合でもグリーンング現象が生じない立毛パイル布帛を開発するために、モケット等の立毛パイル布帛の地組織に伸縮性を付与すべく、地組織を構成する経糸及び緯糸としてポリウレタン弾性糸を用いる構成を着想し、試作した。得られた布帛は、伸縮性に優れていてグリーンングはある程度防止できるものの、経方向、緯方向の伸びのバランスが悪く、装着する前の段階で布帛表面に凹凸が生じたり、反り返ったりするために、裁断や縫製の際に上記凹凸や反りが障害となって作業性が低下するという問題や、前記布帛表面の凹凸が張設後でも残存して外観品位が悪いという問題を有することが判明した。更に、地組織としての伸縮性に富み過ぎるがために、製織時のパイルの抑えが利かず、二面分割時にパイルの片切れ等の不良を生じやすかった。

※用語

これらの用語は指定用語ではなく、参考に提供するものです。
他に適切な用語があれば別の用語を使っても構いません。

グリーンング: grinning

二面分割 (をやる) : (to) sever double-pile fabric

片切れ: uneven cuts

問2. 次の実施形態に関する記述の、【0042】～【0043】の範囲を英語に訳して下さい。米国出願を想定し、和文の細かい表現にとらわれずに、技術的な要点がわかりやすく読み取れる訳文を心がけてください。

【0040】図11は図10で示した彫刻刀カバー16の装着時における彫刻刀31の使用状態を示した図である。

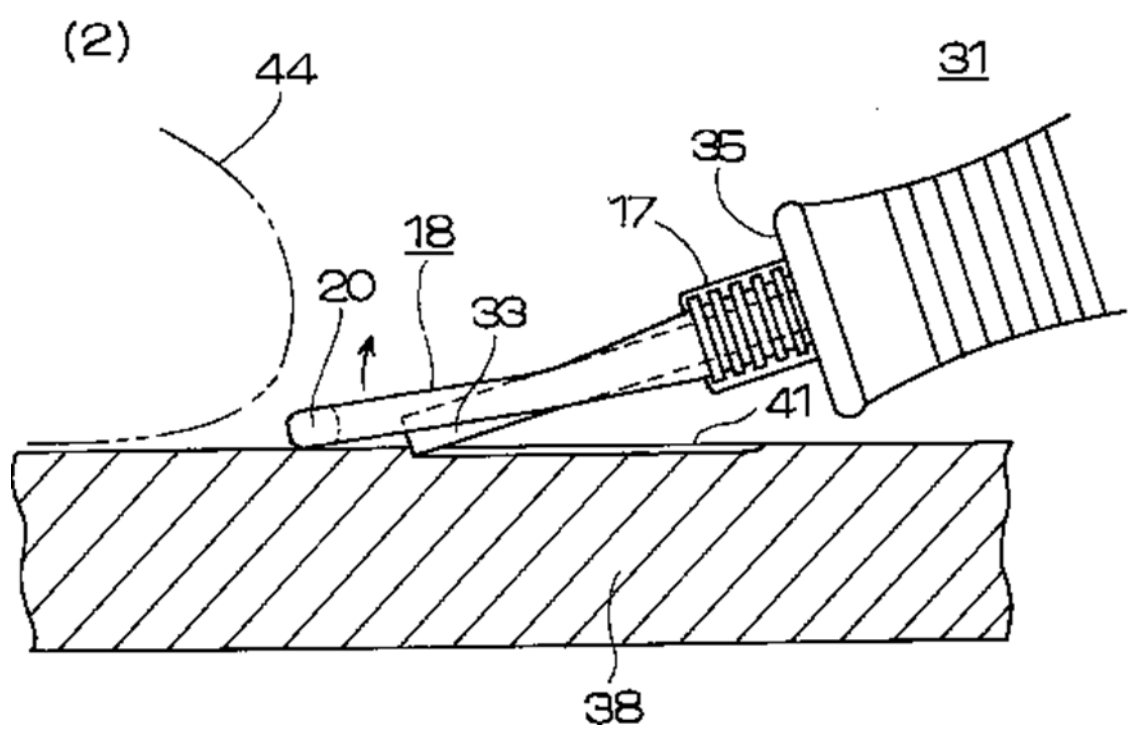
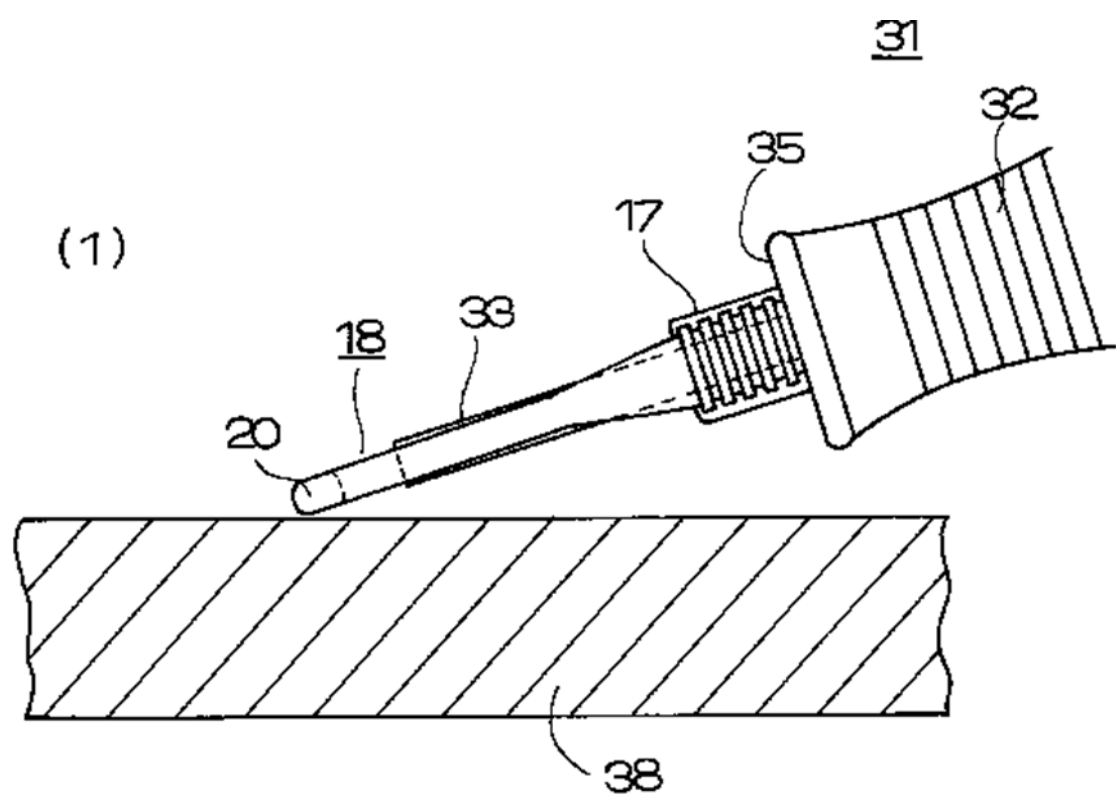
【0041】図11の(1)に示されているように、彫刻刀31の使用前においては刃33の刃先方向の延長上にループ部18の先端部20が位置することになる。従って、彫刻刀31の刃33を被彫刻物38に対して所定の角度 θ で近づけると、まずループ部18の先端部20が被彫刻物38の上面に当接することになる。

*** Start ***

【0042】この状態で彫刻刀31の刃33を被彫刻物38に更に近づけようと力を入れると、ループ部18は軟質性の合成樹脂より形成されているため、図11の(2)に示されているように被彫刻物38からの反力によって矢印の方向に変形する。このようにループ部18が変形するため、彫刻刀31の刃33を被彫刻物38に当接させて所望の彫り溝41を形成することが可能となる。彫刻刀31の刃33を押し進めると、ループ部18の先端部20の下面は、被彫刻物38の上面に接触した状態で刃33の移動とともに被彫刻物38上を滑ることになる。この実施の形態においても彫刻刀カバー16を上方から見れば、刃33の先端を覆うものが何もないため、彫刻刀カバー16によってその使用が何ら邪魔されるものではない。

【0043】このように使用時には刃33の前方には、常時彫刻刀カバー16の先端部20が位置している。そのため、左手44を刃33の前方において彫刻刀31の不用意な突出しが生じても、左手44には先端部20が接触し刃33が直接あたる虞はない。又、左手44への接触による先端部20への反力は先の第1の実施の形態と同様に胴部17を介して彫刻刀31の先端面35に伝達されるため、彫刻刀31のそれ以上の突出しが安定的に阻止される。

*** End ***



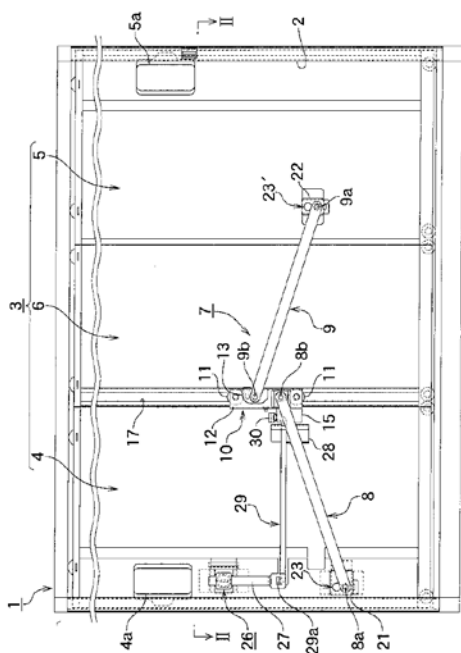
問3. 次の装置クレームを英語に訳して下さい。原文に忠実に訳して下さい。

【請求項1】

筐体（1）における前面の開口部（2）を、順次前後に重畳して左右方向に移動自在に配置された左扉（4）、中間扉（6）、右扉（5）の3枚の扉により、開閉可能とするとともに、前記左右両扉の裏面に、一端をそれぞれ回転自在に連結し、かつそれらの他端を、中間扉（6）の裏面に、上下方向に沿うガイドレール（17）に昇降可能に案内されるように設けた連動部材（10）に、それぞれ回転自在に連結した左右1対のリンクバー（8、9）により、扉開閉操作時に、各扉同士を、同期動作させるようにした引違い扉のリンク装置であって、

閉扉時における一方のリンクバーのリンク軸とガイドレール（17）のガイド軸とのなす角度と、他方のリンクバーのリンク軸とガイドレール（17）のガイド軸とのなす角度とを、互いに異ならせることにより、中間扉（6）に対する左扉（4）の相対的な移動距離と、中間扉（6）に対する右扉（5）の相対的な移動距離とを異ならせたことを特徴とする引違い扉のリンク装置。

【図1】



【図2】

